

STAND UP SUMMIT 2017 復興セッション候補リスト

	団体	予定テーマ	地域	14年	15年	16年
1	三陸鉄道株式会社	鉄道	岩手	○	○	○
	地域の足を守る為、三陸鉄道が取組んだミッションを講演。沿岸部における、現在の課題等を受講者に考えてもらうセッション					
2	特定非営利活動法人GRA	人材育成	宮城	○	○	○
	世界トップクラスの学生が学びに来る被災地。より多くの次世代リーダーが東北に学びに来るにはどのようにすれば良いか考えるセッション					
3	NPO法人 b.e.c.o.	同郷の絆	福島		新規	
	東京と地元(福島)の同級生が再びあつまり、1つの目的に向かって活動することを学ぶセッション					
4	アメリカ大使館	教育	国際		○	○
	海外の人に東北の魅力を英語でどの様にアピールできるかを、皆でアクティビティーを交えて考えるセッション					
5	福島県庁	風評被害	福島		○	○
	いまだに根強く残る風評を払拭し、福島県産品の購入や福島県への観光を促すためにはどのようにすれば良いかを考えるセッション					
6	日本赤十字社	国際協力	国際	○	○	○
	東日本大震災の際、海外の国々から多くの支援が日本へ寄せられた。震災を経験した私たちだからこそ、今できる国際協力とは何かを考えるセッション					
7	東北福祉大学	防災士	宮城	○	○	○
	防災について十分な意識、知識、技能をもつ地域社会の防災リーダーである防災士についてゲームを交えて学ぶセッション					
8	早稲田大学	レジリエンス	東京		○	○
	(大隈重信)「諸君は必ず失敗する。成功より失敗が多い。失敗に落胆しなさんな。」…ではどうやって再び立ちあがるのかを考えるセッション					
9	Support Our Kids学生	(調整中)	東北3県合同		新規	
	(調整中)					
10	スマイルとうほくプロジェクト	メディア	東北3県合同			○
	被災3県の新聞社(岩手日報社、河北新報社、福島民報社)が東北に笑顔を広げ、その笑顔を全国に届けるプロジェクト。被災者の心のケアについて考えるセッション					
11	NPO法人 ボランティアインフォ	ボランティア	宮城			○
	熊本地震でのボランティアの状況に触れながら、東日本大震災後のボランティア活動から、まちづくりに若者を積極的に巻き込んでいくための方法を考えるセッション					
12	宮城県タクシー協会 仙台地区総支部	語り部タクシー	宮城			○
	地元と連携し、復興を目指す街のつなぎ役である被災地ガイドと語り部タクシーの取り組みから、大震災やその教訓を語り継ぐことの重要性を学ぶセッション					
13	綾里漁業協同組合(小石浜青年部)	漁業	岩手			○
	「浜のファンになってほしい」小石浜ホタテ事業を通じた地域活性化や交流人口増加の取り組み、そして若い生産者の現状を学ぶセッション					
14	JICA東北	相互復興	国際		新規	
	国内外での復興支援の取り組みが、お互いにどのような相乗効果を発揮しているのかを学ぶセッション					
15	Do One Good	ペットの避難/警備犬	東京		新規	
	被災地のペットを取り巻く現状を学び、災害時や治安の管理で活躍する災害救助犬や警備犬について考えるセッション					